

※パネルの一部を掲載。

40.1メートルの観測史上最大の津波

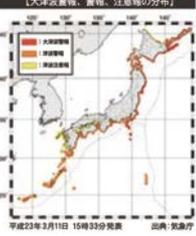
震災が起きた後、北海道・東北・関東地方の太平洋沿岸を巨大な津波が襲いました。14時49分には岩手・宮城・福島に大津波警報が発令。一時は、本州日本海側を除く日本全国の海岸でも大津波警報などが発令。

地震から2日後の13日17時58分の津波注意解除解除までの長時間、津波に対する警報は続きました。

高止した津波は最初にその最盛期を挟み、岩手県大船渡市観測所では40.1mを記録しました。これは明治三陸津波の際に観測されたこれまで最も高い38.2mを上回るものでした。



【大津波警報、警報、注意解除の分布】



岩手県宮古市(旧田老町) (出典: 岩手県防災情報センター)

最大浸水深 **18.3m**
 (岩手県釜石市内川)

最大遡上高 **40.1m**
 (岩手県大船渡市観測所)

出典: 日本気象協会資料

東日本大震災の発生そして余震 M9.0 観測史上最大の地震。

2011年3月11日14時46分、北緯38°06.2'、東経142°51.6' (宮城県牡鹿半島東岸約130km)でマグニチュード9.0の地震が発生。(日本観測史上最大、世界観測史上第4位)

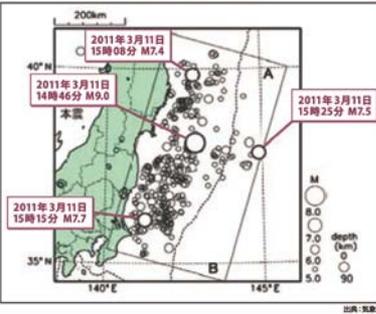
宮城県栗原市栗原町では震度7を、宮城・福島・茨城・栃木県の広い範囲で震度6強を観測しました。

その後1ヶ月間で、岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmの広い範囲でマグニチュード5.0以上の余震は、実に400回以上も観測されました。

順位	年代	発生場所	マグニチュード
1	1960年	チリ地震	M9.5
2	1964年	アラスカ地震	M9.2
3	2004年	スマトラ地震	M9.1
4	1952年	カムチャッカ地震	M9.0
4	2011年	東日本大地震	M9.0

出典: 気象庁

本震、余震の震源の分布地図



2011年3月11日 15時08分 M7.4
 2011年3月11日 14時46分 M9.0 (本震)
 2011年3月11日 15時25分 M7.5
 2011年3月11日 15時15分 M7.7

出典: 気象庁

忘れない。

北上川学習交流館あいぽーとでは、東日本大震災から5年を迎えることから東日本大震災と救命・救護ルート確保、復旧への記録のパネルなど71枚を展示しています。また、過去の震災資料なども展示してあります。興味のある方は是非ご来館下さい。

これらのパネルが、地域の防災力向上のため、また明日への備えの一助となれば幸いです。



東北地方整備局 震災伝承館

English



HOME 震災概要 写真 動画 年表 読みもの より知りたい人へ リンク

2011年3月11日14時46分、東日本大震災は、多くの人命、資産を奪い、我々に大きな爪痕を残しました。過去から繰り返す津波の悲劇と、その原動力であった津波石。先祖の代から続く熱い願い。「二度と繰り返してはならぬ」東日本大震災は、日本の甚大な津波災害を画し、映像等で究明に記録した初めての災害と書かれています。我々東北地方整備局も津波石を築いた先祖のように、同じ悲劇を繰り返さないことを願い、この被災経験・教訓を活かすための記録を作成しました。

写真、映像等の各種資料は二次利用を想定しています。複製が作成する資料へ添付していただくことも可能です。コンテンツを利用する場合は、[転載依頼フォーム](#) からご連絡下さい。明日の日本の防災力向上に向け、皆様と一緒にこの出来事を伝えていくことを強く希望します。

ピックアップ写真ライブラリ



ピックアップ動画ライブラリ



国土交通省 東北地方整備局ホームページにて、震災伝承館を開設して被災経験・教訓を活かすための記録として、被災した市町村などからご協力を頂いた約1万点の写真と映像などを掲載したサイトを作成しています。



2011年3月11日14時46分。東日本大震災は、多くの人命、資産を奪い、私たちに大きな爪痕を残しました。過去から繰り返す津波の悲劇と、その都度建てられた津波記念碑。先祖の代から続く「二度と繰り返してはならぬ」との熱い願い。津波記念碑を残した先祖のように、同じ悲劇を繰り返さないことを願う。この被災経験・教訓を後世に伝えていくために、パネルを作成しました。被災者、被災地の思いを忘れない。地域や世代を超えて、今回の教訓を共有していくことが大切です。

◆編集後記◆震災伝承館を観て、改めて津波の脅威を思い知りました。また、国土交通省ハザードマップポータルサイトの活用方法を知りました。皆さんも防災の備えの一つとして是非ご覧下さい。(よ)